

事務事業名	文化芸術振興事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和28年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)			
市民			6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）		
		事業費	5,975		7,580		7,823		
		人件費	9,997		15,261		15,261		
目 的		総事業費	15,972		22,841		23,084		
市民の文化芸術活動の発表の場および芸術活動の機会を提供することで、市民の文化芸術活動の裾野の拡大を図り、もって文化や芸術に親しむ人の増加につなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳							
				国支出金		0			
				県支出金		0			
				市債		0			
				その他		788			
				一般財源		7,035			
				合 計		7,823			
手段、手法【実施手法：直営・委託】									
・一般公募による文化芸術作品等の発表を行います。 ・コミュニティ音楽館を開催します。 ・芸術文化ホールで文化芸術事業（委託）を開催します。 ・SORAアーティスト事業を実施します。 ・文化芸術団体等と連携協力しながら、YAMATO ART100プロジェクトを実施します。 ・「YAMATOイラストレーションデザインコンペ」入賞者の作品の活用を行います。		3. 活動内容							
		活動指標1	名称	文化芸術作品の展示日数				単位	日
			内容説明	文化祭・文芸祭で一般公募展を開催した日数					
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
				予 定	21	15	15		
実 績	21	18	――						
成 果（効果・予測）									
・市民の文化芸術活動の裾野を広げることができます。		活動指標2	名称	コミュニティ音楽館の開催日数				単位	日
			内容説明	コミュニティセンターで音楽会を開催した日数					
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
				予 定	15	15	15		
		実 績	14	14	――				
課 題		活動指標3	名称	文化芸術事業委託件数				単位	件
			内容説明	（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団に委託した件数					
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
				予 定	1	1	1		
		実 績	1	1	――				
より多くの市民に開かれた事業を実施するための方策について、常に検討する必要があります。		活動指標4	名称	YAMATO ART100の開催日数				単位	日
			内容説明	YAMATO ART100として開催した日数					
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
				予 定	100	100	100		
		実 績	100	100	――				

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	すべての市民が、文化芸術を日常の一部として親しむことのできる機会を提供できるよう事業を引き続き実施します。SORAアーティスト事業に関しては、事業の拡充方法を検討します。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、文化芸術を創造し、享受する権利を保障するため、すべての市民が文化芸術に触れ、親しむことができる機会を提供するものであり、積極的に市が関与していく必要があります。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	B：成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	本事業では、様々なジャンルの文化芸術の公演、展覧会を実施、発信していますが、SORAアーティスト事業についてはアーティスト数が50名を超える規模となり、事業拡充の可能性が生まれたことから、さらなる事業成果の創出ができると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	本事業の文化芸術イベントに係る業務のうち、民間が効果的、効率的行えるものについては、積極的に委託を推進しています。また、人件費は、文化芸術イベントの運営、文化芸術情報の発信のために要したもので、求められるサービス水準を踏まえると、適正であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	本事業は、すべての市民を対象に文化芸術のイベントを実施しており、受益の公平性および負担は適正と考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	本事業で行う文化芸術イベントでは、年齢、性別、国籍の違い、障がいの有無にかかわらず、あらゆる市民が参加できるように企画、運営を行っています。

事務事業名	文化財普及啓発事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		社会教育法			
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	506	565	1,716
	人件費	2,307	2,410	4,418
目 的	総事業費	2,813	2,975	6,134
郷土に関する講座等の開催や文化財案内板等を適切に管理することで、市民が身近な文化財について知る機会を増やし、郷土意識を高めることにつなげます。 手段、手法【実施手法：直営】 文化財愛護講座を開催します。また、文化財案内板などの維持管理を行います。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		1,716
		合 計		1,716
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	文化財愛護講座の開催数	単位 回
		内容説明	文化財愛護講座の回数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	1
			実 績	1
成 果（効果・予測）	活動指標2	名称	文化財防火デーの消防訓練実施回数	単位 回
		内容説明	郷土民家園で実施する消防訓練の回数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	1
			実 績	1
課 題	活動指標3	名称	文化財案内板の維持管理件数	単位 基
		内容説明	維持管理している案内板、標柱の件数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	82
			実 績	82
文化財案内板の老朽化が進んでいるため、補修・建て替えなどが必要です。	活動指標4	名称	博物館実習修了者数	単位 人
		内容説明	所定の実習を修了した実習生数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	5
			実 績	5

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	文化財愛護講座および消防訓練等を継続的に実施していくほか、文化財案内板等の修繕は経年劣化の著しいものから計画的に行います。文化財愛護講座や各種行事の開催案内などは、ホームページや広報やまとなどの媒体を用いて、広く市民へ周知していきます。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	

事務事業名	郷土民家園管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		大和市郷土民家園条例			
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成06年度				

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
郷土民家園		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	12, 171	13, 245	12, 377
	人件費	769	1, 205	1, 205
目 的	総事業費	12, 940	14, 450	13, 582
指定管理者に施設の管理・運営を委託することで、江戸時代の生活や産業に直結する生き物飼育を含めた柔軟な事業運営を図り、体験的に学習する機会を提供します。 手段、手法【実施手法：指定管理】 ・郷土民家園管理運営事業を指定管理者に委ねて実施します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			12, 377
	合 計			12, 377

活動指標1	名称	郷土民家園の来園者数			単位	人
	内容説明	園内の見学者数(自動カウンター)				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	55, 000	55, 000	35, 000	
		実 績	30, 903	29, 483	―――	
活動指標2	名称	事業実施件数			単位	件
	内容説明	普及啓発事業の実施件数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	30	30	40	
		実 績	38	49	―――	
活動指標3	名称	行事参加者数			単位	人
	内容説明	園内で行った事業への参加者数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	13, 000	13, 000	13, 000	
		実 績	10, 121	12, 471	―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	指定管理者による管理・運営を継続します。また、指定管理者との連絡調整及び市が実施する施設修繕を適切に実施します。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	郷土民家園に移築復原されている古民家は市指定重要有形文化財であり、市民共有の歴史遺産として、保存・管理および運営には市の関与が必要です。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	来園者数は前年度と同水準ですが、事業の参加者数は事業数が増えたこともあり増加傾向です。市民に親しまれる事業の実施等により施設の魅力を向上させるよう進めます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	事業費・人件費ともに必要最小限の予算の中で、指定管理者による維持管理および事業運営を適正に行っています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	誰もが学習の機会を得られるよう、入園料・観覧料は原則無料で運営しています。一部の事業においては、実施にあたり、事業参加者から教材費・材料費等実費負担を求めています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	指定管理者により、市民ボランティアの参加、事業広報活動が行われているほか、子ども・外国人向けのワークシートの配布等、誰もが利用できるような運営にも配慮しています。また、園内は、古民家が自然と共生していた環境を復原しているため、環境負担軽減等の社会的配慮は十分に行われていると判断します。

事務事業名	芸術文化ホール管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		文化・芸術	
	めざす姿		文化や芸術に親しむ人が増えている	
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
		劇場・音楽堂等の活性化に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成27年度			
				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
やまと芸術文化ホール			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）	
		事業費	293, 292	293, 636	315, 752	
		人件費	2, 692	2, 811	2, 811	
目 的		総事業費	295, 984	296, 447	318, 563	
やまと芸術文化ホールを円滑に管理・運営することで、市民が安心・安全に利用できる環境を整え、文化や芸術に親しむ人の増加につなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		40, 700		
		一般財源		275, 052		
		合 計		315, 752		
手段、手法【実施手法：直営・委託・指定管理】						
指定管理者による管理運営を行います。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	開館日数			単位	日
	内容説明	芸術文化ホールの開館日数				
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定		359	359	359
		実 績		359	359	— — —
活動指標 2	名称	利用者数			単位	人
	内容説明	ホール、ギャラリー、マルチスペース利用者数				
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定		250, 000	250, 000	250, 000
		実 績		217, 103	224, 733	— — —
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定				
		実 績				— — —
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定				
		実 績				— — —
課 題						
芸術文化ホールの管理運営について、指定管理者と定期的に情報共有しながら、適正な管理運営を進める必要があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度 I：現状のまま継続
	今後も、指定管理者等と管理運営に関する課題について定期的に情報共有しながら、円滑かつ適切な管理運営の実現に努めていきます。				

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	5年度	6年度	7年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	本事業は、市が設置する芸術文化ホールを円滑に管理運営するためのものであり、今後も継続的に市が関与する必要があると考えます。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	5年度	6年度	7年度	A：十分に成果を上げている。
	A	A	A	本事業では、定期的に指定管理者と協議を行い、芸術文化ホールの管理運営に関する課題や問題点について随時対応を行っています。その結果、民間事業者が持つ知識、経験を活かした管理運営が行われており、現在の手法を継続していくことで、十分な成果を得ることができると考えています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	5年度	6年度	7年度	A：経費は適正な水準である。
	A	A	A	主な事業費である施設の指定管理料は、第1期指定管理での活動を踏まえ、業務内容を精査したうえで決定しています。人件費は、指定管理者との協議などに要したものであり、円滑に管理運営するうえでの必要経費として適正な水準にあると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	5年度	6年度	7年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	芸術文化ホールは、全ての市民が利用できる施設として管理運営を行っており、受益の公平性は保たれています。また、条例に定める利用料金については、他の公共ホールの料金等を勘案しながら設定しており、利用者の負担は適正なものと考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	5年度	6年度	7年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	ホームページや駅の案内板を活用し、積極的な情報提供を行うとともに、バリアフリーコンサートを定期的実施するなど、誰もが気軽に文化芸術に触れられる機会を提供しています。

事務事業名	歴史的公文書収集整理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和56年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費			(単位：千円)
大和市の行政機関、行政委員会などの保存年限満了公文書（歴史的公文書）		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	3,016	3,191	3,440
	人件費	1,538	1,606	1,606
目 的	総事業費	4,554	4,797	5,046
歴史的公文書を収集・保管することで、市行政や市民生活の推移を歴史的に辿ることができるよう整備を図り、市の財産として永く後世に伝える体制を目指します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			3,440
	合 計			3,440
	手段、手法【実施手法：直営】			
・廃棄される公文書のなかから歴史的な価値のある記録を選別・収集し、整理・目録化を行い、保存します。				
・行政刊行物を収集・保存します。				

活動指標1	名称	歴史的公文書の選別実施量			単位	箱数
	内容説明	選別作業の対象とした廃棄公文書の量（文書保存箱数）				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	100	100	100	
		実 績	95	82	―――	
活動指標2	名称	マイクロフィルム化処理のコマ数			単位	コマ数
	内容説明	資料をマイクロフィルム撮影したコマ数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	2,000	2,000	2,000	
		実 績	1,847	1,984	―――	
活動指標3	名称	整理済みの資料数（累計）			単位	箱
	内容説明	整理済みの資料を収納した保存箱数の累計数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	2,110	2,150	2,150	
		実 績	2,047	2,095	―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	収集した資料の整理作業を継続して進めていきます。					

事務事業名	地域歴史資料整理・保存事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		文化・芸術	
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている	
根拠法令	名 称	文化財保護法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和46年度			
				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
個人などが所蔵する地域の歴史的資料			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）	
		事業費	2,013	2,209	2,685	
		人件費	1,538	1,606	1,606	
目 的		総事業費	3,551	3,815	4,291	
個人などが所蔵する歴史的資料を市が調査・整理・複製することで、市民が活用できる状態に整備し、共有の財産として次世代に引き継いでいくことを目指します。 手段、手法【実施手法：直営】 ・原資料を中性紙の封筒・箱に収納するとともに、目録を整備します。 ・保存と活用のため、コピーやマイクロフィルムなどの複製資料を作製します。 ・歴史的資料が欠けている分野と時期については、資料を補完するため、聞き取り調査を実施します。		8年度事業費（予算額）財源内訳				
			国支出金		0	
			県支出金		0	
			市債		0	
			その他		0	
			一般財源		2,685	
			合 計		2,685	
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	マイクロフィルム撮影コマ数			単位	コマ
	内容説明	資料をマイクロフィルム撮影したコマ数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	4,000	4,000	4,000	
		実 績	3,689	3,969	――	
成 果（効果・予測）						
・地域の歴史資料を未来へ継承することができます。 ・市域の歴史資産の概要が把握され、活用可能となります。 ・地域の歴史を調べようとする者にとって、資料活用が可能となります。						
活動指標 2	名称	製本数			単位	冊
	内容説明	各資料を保存のため製本した冊数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	30	30	30	
		実 績	28	29	――	
活動指標 3	名称	史料の記録作業等点数			単位	点
	内容説明	記録と保存作業（整理・目録化・点検・分類）を行った点数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	300	500	300	
		実 績	897	195	――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
・個人が所蔵する資料（昭和48年頃に近世文書を主な対象として実施した悉皆調査時に簡単な資料整理を行ったもの）について、今後の長期保存を目的とした再整理作業を実施する必要があります。 ・個人が所蔵する近・現代資料についても、資料保存や活用についての相談や依頼があり、それらについても調査・保存・整理作業を実施する必要があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度 I：現状のまま継続
	各家が所蔵している資料の整理・目録化を計画的に進めます。また、資料の解読作業および資料の複製を行い、資料利用の道を開きます。毎年一定の予算により一定量の整理を継続的に進めるとともに、資料の媒体変換も予算に応じ、着実に進めていきます。				

事務事業名	大和州市史編集発刊事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称				
当該事業の法令等による義務付けの有無		無			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和46年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	1,104	882	1,925
	人件費	7,690	2,410	2,410
目 的	総事業費	8,794	3,292	4,335
手段、手法【実施手法：直営】 ・市域の歴史事象に関する専門家の論文等を掲載した『大和州市研究』を刊行します。 ・市域の歴史資料について解説を加えた『大和州市資料叢書』を刊行します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			1,925
	合 計			1,925

活動指標1	名称	『大和州市研究』発行回数			単位	回
	内容説明	『大和州市研究』を発行しています。				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	1	0	0	
		実 績	1	0	―――	
活動指標2	名称	『大和州市資料叢書』発行回数			単位	回
	内容説明	『大和州市資料叢書』を発行しています。				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	0	0	1	
		実 績	0	0	―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	歴史情報の提供について、若年層から高齢者までの幅広い年代の歴史探求の需要を満たせるよう、引き続き継続していきます。					

9602
一般会計

1. 位置づけ・事務事業の期間			
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち
	施策分野		文化・芸術
	めざす姿		文化や芸術に親しむ人が増えている
根拠法令	名 称	文化芸術基本法	
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有	
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度
	昭和47年度		令和08年度
		事業期間	
		55年	

対 象		総事業費		(単位：千円)			
大和市の文化施設		6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）	
		事業費		2	55	46	
		人件費		769	803	803	
目 的		総事業費		771	858	849	
文化施設建設等の財源を確保することで、文化施設の建設等に寄与し、文化や芸術に親しむ人の増加につなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳					
手段、手法【実施手法： 直営】 ・ 市民、ポータルサイトを通じた寄附金等を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理します。		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		46			
		一般財源		0			
		合 計		46			
3. 活動内容							
活動指標 1	名称	寄附金受入れ件数				単位	件
	内容説明	1年間に寄附金を受け入れた件数					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定	8	5	0		
		実 績	5	1	－ － －		
成 果（効果・予測）							
・ 文化施設の建設等に寄与します。 ・ 寄附していただいた市民等の篤志に応えることができます。		活動指標 2	名称				単位
			内容説明				
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
				予 定			
				実 績			－ － －
課 題	特にありません。	活動指標 3	名称				単位
			内容説明				
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
				予 定			
				実 績			－ － －
		活動指標 4	名称				単位
			内容説明				
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
				予 定			
				実 績			－ － －

今後の方針等	5年度	I : 現状のまま継続	6年度	I : 現状のまま継続	7年度	Ⅲ : 廃止または終了
	大和市応援基金に統合されるため、令和8年度をもって終了します。					

事務事業名	生涯学習振興基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成14年度		令和08年度		

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)				
市民の文化芸術及び生涯学習の振興、普及活動			6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）			
		事業費	17		86		41			
		人件費	769		803		803			
目 的		総事業費	786		889		844			
基金の管理を適切に行うことで、市民の文化芸術・生涯学習の振興を図り、文化や芸術に親しむ人の増加につなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳								
		国支出金		0						
		県支出金		0						
		市債		0						
		その他		41						
		一般財源		0						
		合 計		41						
3. 活動内容										
活動指標 1	名称	寄附金受入れ件数					単位	件		
	内容説明	1年間に寄附金を受け入れた件数								
	指標値			6年度	7年度（当該年度）		8年度			
		予 定		9		10		0		
		実 績		10		3		――		
成 果（効果・予測）										
・市民の文化芸術、生涯学習の振興、普及活動を促進することができます。 ・寄附していただいた市民等の篤志に応えることができます。		活動指標 2	名称						単位	
		内容説明								
		指標値			6年度	7年度（当該年度）		8年度		
			予 定							
			実 績						――	
課 題	活動指標 3	名称						単位		
	内容説明									
	指標値			6年度	7年度（当該年度）		8年度			
		予 定								
		実 績						――		
特にありません。	活動指標 4	名称						単位		
	内容説明									
	指標値			6年度	7年度（当該年度）		8年度			
		予 定								
		実 績						――		

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	Ⅲ：廃止または終了
	大和市応援基金に統合されるため、令和8年度をもって終了します。					

事務事業名	文化団体支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和30年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費			(単位：千円)
文化芸術分野の団体		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	3,845	4,016	4,016
目 的	総事業費	3,845	4,016	4,016
文化芸術団体を支援することで、文化芸術団体の活動を促進し、文化や芸術に親しむ人の増加につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0
手段、手法【実施手法：直営】				
・文化芸術分野の団体に対して、運営等に関する指導や助言を行います。				
・市民が主体的に実施する事業に対して、後援及び会場				

活動指標1	名称	大和市伝統文化伝承事業実行委員会会議出席回数			単位	回
	内容説明	大和市伝統文化伝承事業実行委員会の会議の出席回数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	5	5	5	
		実 績	6	7	――	
	活動指標2	名称	団体等の後援名義使用申請件数			単位 件
		内容説明	市の後援名義使用申請件数			
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定	30	30	30
			実 績	41	39	――
	活動指標3	名称				単位
		内容説明				
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定			
			実 績			――
活動指標4	活動指標4	名称				単位
		内容説明				
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
			予 定			
			実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	文化芸術団体が、今後も活動を継続していけるよう、引き続き、適切な指導、助言を行っていきます。					

事務事業名	生涯学習振興基金活用支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		文化・芸術	
	めざす姿		文化や芸術に親しむ人が増えている	
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成15年度			
				設定無し

2. 事務事業の概要									
対 象		総事業費 (単位：千円)							
市内を中心に活動する市民及び団体		6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）			
		事業費		700		450		550	
		人件費		1,154		1,205		1,205	
目 的		総事業費		1,854		1,655		1,755	
生涯学習の一環として行われる文化芸術活動を支援することで、多くの市民の文化芸術等の関心を高め、文化や芸術に親しむ人の増加につなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金		0					
		県支出金		0					
		市債		0					
		その他		550					
		一般財源		0					
		合 計		550					
		3. 活動内容							
活動指標 1	名称		補助金交付件数			単位	件		
	内容説明		生涯学習振興補助金の交付件数						
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定		3	4	3			
		実 績		3	4	――			
活動指標 2	名称		選考会議開催回数			単位	回		
	内容説明		生涯学習振興補助金選考会議の開催日数						
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定		1	1	1			
		実 績		1	1	――			
活動指標 3	名称					単位			
	内容説明								
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定							
		実 績				――			
活動指標 4	名称					単位			
	内容説明								
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定							
		実 績				――			
課 題		生涯学習振興基金に依存した事業であるため、原資がなくなったときに、現在のような支援を継続していくべきか検討する必要があります。							

4. 今後の方針等					
今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅰ：現状のまま継続	7年度 Ⅰ：現状のまま継続
	市民、団体が行う文化芸術や生涯学習事業に対して支援を行い、自発的かつ主体的な活動を促進するため、経済的な軽減を図っていきます。				

事務事業名	文化振興基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		文化や芸術に親しむ人が増えている		
根拠法令	名 称	文化芸術基本法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成03年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位：千円)	
文化芸術の振興に資する事業		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）		
	事業費	30	10	101		
	人件費	769	803	803		
目 的	総事業費	799	813	904		
文化芸術の振興を図るための基金を適正に管理することで、文化芸術の振興のために行う事業を安定的に実施し、文化や芸術に親しむ人の増加につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金	0			
		県支出金	0			
		市債	0			
		その他	101			
		一般財源	0			
		合 計	101			
手段、手法【実施手法：直営】						
・市民、ポータルサイトを通じた寄附金等を基金として積み立て、その利子及び原資を適正に管理します。						
・運用益を文化芸術事業の資金として役立てるために、繰り出しを行います。						
成 果（効果・予測）						
・文化芸術の振興のために行う事業を安定的に実施することができます。						
・寄附していただいた市民等の篤志に応えることができます。						
課 題						
特にありません。						

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	寄附金受入れ件数			単位	件
	内容説明	1年間に寄附金を受け入れた件数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	21	16	12	
	実 績	16	12	――		
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
	実 績			――		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
	実 績			――		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
	実 績			――		

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	文化芸術の振興を図る事業を安定的に実施するための貴重な財源として、引き続き適正な管理を行います。					

事務事業名	文化財保護管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
大和市内の文化財			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）		
		事業費	976	1,732	1,984		
		人件費	769	1,606	1,606		
目 的		総事業費	1,745	3,338	3,590		
文化財保護に関する事業を円滑に行うことで、市内の文化財が適切に管理され、市民共有の財産として後世に引き継がれていくことを目指します。		8年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		80			
		一般財源		1,904			
		合 計		1,984			
手段、手法【実施手法：直営】							
・文化財保護に係る庶務事務を行います。 ・県内文化財保護部局との連絡調整を行います。 ・文化財調査報告書の販売を管理します。/ ・市が所有する文化財の保存処理・記録作製を行います。		3. 活動内容					
		活動指標1	名称	報告書販売数		単位	冊
			内容説明	年間の販売冊数			
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
				予 定	200	100	200
実 績	56	167	— — —				
成 果（効果・予測）							
・各種文化財保護業務が円滑に行われます。 ・県内文化財保護部局との連携が円滑に行われます。 ・報告書の販売が適切に行われます。		活動指標2	名称			単位	
			内容説明				
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
				予 定			
		実 績			— — —		
課 題		活動指標3	名称			単位	
特にありません。	内容説明						
	指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定				
実 績			— — —				
	活動指標4	名称			単位		
		内容説明					
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定				
実 績			— — —				

4. 今後の方針等					
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度
	I：現状のまま継続 文化財保護に関わる事務全体を円滑に進めるための基礎となっており、今後も継続していきます。				

事務事業名	文化財保護審議会等運営事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		大和市文化財保護条例			
		大和市文化財保護審議会規則			
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和41年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市内の文化財、指定重要文化財		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	423	440	441
	人件費	1,538	1,606	1,606
目 的	総事業費	1,961	2,046	2,047
文化財保護審議会および指導委員制度を設けることで、市内の文化財を適正に評価・管理し、市民が共有の財産として歴史的・文化的環境を享受できるよう整えます。 手段、手法【実施手法：直営】 文化財保護審議会で文化財の指定等の重要事項を審議します。文化財保護指導委員は指定文化財の巡回調査等の地域活動を行います。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			441
	合 計			441
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	市指定重要文化財指定件数	単位 件
		内容説明	所有者等の申請後、現地等での調査を経て、必要の都度指定	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	32
			実 績	32
成 果（効果・予測） 重要文化財に指定することで、文化財保護についての意識が高まり、市民共有の財産として歴史的・文化的環境を享受できる機会を提供できるようになります。また、定期的に巡視することにより、指定文化財の適正な維持管理のための情報を得ることができます。	活動指標2	名称	審議会開催数	単位 回
		内容説明	指定管理運営状況の評価や指定候補文化財の調査状況の審議等	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	2
			実 績	2
	活動指標3	名称	巡回調査件数	単位 件
		内容説明	指定文化財に対する巡回件数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	52
			実 績	52
課 題 地域の伝統・文化・文化財に精通した文化財保護指導委員を10地域から選任するのは難しく、今後検討が必要です。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	大和市にとって重要な文化財の指定、指定文化財と文化財案内板の巡回調査は、文化財保護に必要な基礎的業務であり、今後も現状のまま進めていきます。					

事務事業名	埋蔵文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		文化・芸術	
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている	
根拠法令	名 称	文化財保護法 第92条～108条		
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
		神奈川県文化財保護条例		
当該事業の法令等による義務付けの有無			有	
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和35年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費			(単位：千円)
市内の周知の埋蔵文化財包蔵地で開発行為等の事業を行う個人・事業者等	6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）	
	事業費	7,447	7,710	8,470
	人件費	10,766	11,646	11,245
目 的	総事業費	18,213	19,356	19,715
遺跡地図を作製・周知し、開発行為の事前届け出制度を整えることで、開発により滅失する文化財について調査・記録保存して、後世に引き継いでいきます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	2,000		
手段、手法【実施手法：直営】	県支出金	666		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	5,804		
	合 計	8,470		
	・文化財保護法にもとづく埋蔵文化財関係届出書類の受理・送付を行うとともに現状調査及び事業者との協議を行います（県委譲事務）。			

3. 活動内容

活動指標1	名称	法第92条、第93条、第94条関係事務件数			単位	件
	内容説明	民間事業者・国・地方公共団体が行う開発行為に伴う手続き				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	100	100	100	
		実 績	126	127	――	
活動指標2	名称	発掘調査件数			単位	件
	内容説明	市直営調査の件数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	15	15	15	
		実 績	16	15	――	
活動指標3	名称	埋蔵文化財協議件数			単位	件
	内容説明	埋蔵文化財包蔵地範囲確認、遺跡取扱い協議等の件数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	1,000	800	800	
		実 績	786	752	――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	市地図情報サービス等で埋蔵文化財包蔵地を周知し、埋蔵文化財の各種届出に必要な情報提供、指定文化財の情報を提供します。また、開発に関する照会・協議に対応し、発掘調査についても理解をいただきながら業務を進めていきます					

事務事業名	民俗文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
民俗文化財		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	882	1,030	1,097
	人件費	1,538	1,606	2,410
目 的	総事業費	2,420	2,636	3,507
散逸しつつある民俗文化財を把握することで、それらの調査・整理・記録作業を推進し、文化財を後世に伝えていくとともに市民が広く活用できる状態を目指します。 手段、手法【実施手法：直営】 収集民具を調査・実測し、記録を作成し、整理終了後に文化財調査報告書を刊行し、閲覧利用できるようにします。市域の古老から聞き取り調査を行い、伝承されている民俗について調査報告書として刊行します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		1,097
		合 計		1,097

3. 活動内容

活動指標1	名称	民具資料収集件数		単位	件
	内容説明	民具資料の寄付件数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	3	3	3
		実 績	4	8	――
活動指標2	名称	民具資料利用件数		単位	件
	内容説明	展示や授業等での活用のために利用した件数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	8	8	8
		実 績	12	11	――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	収集している民具資料の記録および民俗芸能・行事等の伝承者からの聞き取り調査を実施しています。計画的に毎年少しずつ調査を行うことが大切で、集積したデータなどを記録保存し、調査成果を市民に提供していきます。					

事務事業名	史跡・天然記念物保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		文化・芸術	
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている	
根拠法令	名 称	文化財保護法		
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有	
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和38年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
史跡・天然記念物		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	1,126	3,645	1,081
	人件費	1,538	3,213	1,606
目 的	総事業費	2,664	6,858	2,687
市内に生息していた動植物の実物標本および史跡・天然記念物を適切に管理・活用することで、市内自然環境の変遷に対する理解を深め、後世に伝えます。 手段、手法【実施手法：直営】 ・実物標本はつる舞の里歴史資料館で保管しています。 ・市指定天然記念物は損害賠償責任保険に加入し、風水害等の自然災害時に巡視を行います。 ・県指定天然記念物の土地所有者と賃貸借契約を締結し、日常の維持管理等の事業を市が実施します。 ・市所有の史跡・天然記念物の整備等を実施します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			1,081
	合 計			1,081
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	天然記念物管理件数	単位 件
		内容説明	ケヤキ2本、タブノキ、ハルニレ、シラカシ林	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	5
			実 績	5
成 果（効果・予測） 天然記念物（樹木）の保護や動植物標本資料を保存・活用することで、市民が市内の自然環境の変遷を理解できるようになります。	活動指標2	名称	標本管理件数	単位 件
		内容説明	昆虫標本、植物標本	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	2
			実 績	2
課 題 ・風水害等の自然災害時において、指定文化財の状況把握を含めた迅速な対応が求められます。 ・天然記念物の枯死や虫食い等による落枝や倒木の兆候が見られた際には、緊急対応が求められます。	活動指標3	名称	樹木診断	単位 件
		内容説明	樹木医による天然記念物（樹木）の樹木診断（年1本）	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	1
			実 績	1
	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	市指定史跡および天然記念物については、所有者と連絡を取り合い専門家の意見を得ながら、良好な状態で保全・活用できるように適宜整備していきます。植物・昆虫標本についても適切な保存を継続します。					

事務事業名	指定文化財保護支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和38年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
指定文化財所有者		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	462	240	420
	人件費	769	803	803
目 的	総事業費	1,231	1,043	1,223
市指定重要文化財の管理者へ補助金の交付を行うことで、保存管理体制の充実を図り、市指定重要文化財を後世へ伝えます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 管理者へ補助金を交付します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		420
		合 計		420

3. 活動内容

活動指標1	名称	補助金交付件数		単位	件
	内容説明	市指定重要文化財の維持管理補助金交付件数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	24	23	23
		実 績	22	22	――
活動指標2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	引き続き指定文化財の管理に対する補助金を交付していきます。					

事務事業名	つる舞の里歴史資料館維持管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		大和市つる舞の里歴史資料館条例			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成10年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
つる舞の里歴史資料館		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	5,816	4,626	6,282
	人件費	3,845	4,016	3,614
目 的	総事業費	9,661	8,642	9,896
適切な維持管理を行うことで、文化財資料の保管環境および市民の学習環境の整備を図り、歴史的・文化的環境を享受できる機会の提供につなげます。 手段、手法【実施手法：直営】 施設の日常的な維持・管理事務を行います。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		6,282
		合 計		6,282

3. 活動内容

活動指標1	名称	運営管理施設数		単位	件
	内容説明	維持管理施設の数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	1	1	1
		実 績	1	1	---
活動指標2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			---

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	施設の老朽化に伴い、修繕を始めとする必要な維持管理に努めるとともに、資料保存・資料見学・調査研究の機能を有する施設として、管理運営を進めていきます。					

事務事業名	つる舞の里歴史資料館運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		大和市つる舞の里歴史資料館条例			
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成10年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	3,489	3,441	3,145
	人件費	4,614	8,835	8,434
目 的	総事業費	8,103	12,276	11,579
市域の歴史資料等を調査・収集・展示公開することで、市民が郷土の歴史や文化を学ぶ環境を整え、市民共有の財産である文化財と知識の継承につなげます。 手段、手法【実施手法：直営】 ・市北部の歴史資料を中心に調査・収集・展示公開するとともに、多様な文化財や歴史を紹介する特別展示、企画展示等を実施します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		3,145
		合 計		3,145
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	利用者数	単位 人
		内容説明	当年度利用者数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	5,000
			実 績	4,744
成 果（効果・予測） 入館した市民は、展示物および地域の歴史に関わる詳細な知識を習得することができます。	活動指標2	名称	特別展示(旧 企画展示)・三館合同企画展回数	単位 回
		内容説明	特別展示(旧 企画展示)及び三館合同企画展	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	3
			実 績	3
	活動指標3	名称	特別展示(旧 企画展示)・三館合同企画展入場者数	単位 人
		内容説明	特別展示(旧 企画展示)・三館合同企画展の入場者数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	2,800
			実 績	4,097
課 題 市民に利用してもらうために、魅力的な展示や事業を企画していく必要があります。	活動指標4	名称	企画展示(旧 コーナー展示)回数	単位 回
		内容説明	年間実施の企画展示(旧 コーナー展示)開催回数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	2
			実 績	2

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	II：見直しのうえで継続	7年度	I：現状のまま継続
	地域の歴史資料保存という役目を果たしながら、常設展を継続し、特別展やコーナー展示などの企画展示を行い郷土愛を醸成するための場となるような事業を行っていきます。特に特別展は、シリウスギャラリーを展示会場として実施することが定着し、立地の良さもあり年々入場者数が増加しています。 今後も引き続き、企画展示の実施内容や会場、事前の宣伝等に関して工夫します。					

事務事業名	有形文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市民		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	205	205	205
	人件費	1,538	1,606	1,606
目 的	総事業費	1,743	1,811	1,811
古文書・工芸品・建造物等の有形文化財の調査を専門家に委託することで、市の歴史や文化に関する研究の進展を図り、汎く継承されることを目指します。 手段、手法【実施手法：直営】 ・古文書、その外の歴史資料の情報を整理して、データベースを作製します。 ・調査記録は順に文化財調査報告書として刊行します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		205
		合 計		205
	3. 活動内容			
	活動指標1	名称	歴史資料調査件数	単位 件
		内容説明	歴史資料の調査、整理作業の件数	
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	2
			実 績	2
			2	2
成 果（効果・予測） 資料調査によって、その価値を明らかにすることができ、活用や教育的利用がなされることとなります。	活動指標2	名称		単位
		内容説明		
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
				―――
	活動指標3	名称		単位
		内容説明		
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
				―――
課 題 有形文化財について順次調査を行い、記録保存するとともに、将来にわたり引き継いでいく必要があります。	活動指標4	名称		単位
		内容説明		
		指標値	6年度	7年度（当該年度）
			予 定	
			実 績	
				―――

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	古文書・工芸品・建造物等の有形文化財については、劣化、散逸の可能性が年々高まっています。今後も継続して巡視、調査、記録しこれらの資料を市民共有の財産として将来へ継承していきます。					

事務事業名	無形文化財保護事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)	
市民			6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）
		事業費	484		489		621
		人件費	1,538		1,606		1,606
目 的		総事業費	2,022		2,095		2,227
伝承者の高齢化などにより失われつつある無形民俗文化財を調査し、映像で記録保存することで、広く活用できる環境を整え、後世に伝えていきます。		8年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		0			
		一般財源		621			
		合 計		621			
手段、手法【実施手法：直営】							
市内に残る文化財を調査し、その様子をデジタル映像として収録し、映像記録として保存を図ります。また映像を作品として編集し、市民に公開できるようにします。							
成 果（効果・予測）							
伝承者の高齢化により消滅が危惧される無形民俗文化財をはじめ市内に伝わる民俗行事などを映像記録として保存します。また、編集作品は市民が閲覧し、後継者育成や伝統の継承のために活用することができます。		名称		撮影・編集件数		単位	件
		内容説明		映像記録を撮影または編集した件数			
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定	1	1	1	
			実 績	2	1	――	
活動指標2		名称		企画・調査件数		単位	件
		内容説明		映像記録制作に向けた企画・調査の実施件数			
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定	1	1	1	
			実 績	2	1	――	
活動指標3		名称				単位	
		内容説明					
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定				
			実 績			――	
課 題		名称				単位	
		内容説明					
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定				
			実 績			――	
市内の無形民俗文化財は社会生活が変化するなかで消滅しつつあります。また、伝承者は高齢であることが多く、早急に記録していく必要があります。映像の保存について、記録媒体や方法が年々変化していくので、その方法について検討していく必要があります。		名称				単位	
		内容説明					
		指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
			予 定				
			実 績			――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	社会生活の変化のなかで失われつつある無形民俗文化財を今後も映像として記録保存し、蓄積した映像記録を有効に市民に提供できるよう、映像作品を作成します。また、映像作品は無形民俗文化財の後継者などへの貸し出しや、普及啓発のために活用していただきます。					

事務事業名	文化財保管施設維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和56年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
文化財保管施設		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	1,285	1,119	1,145
	人件費	769	803	803
目 的	総事業費	2,054	1,922	1,948
施設を適切に維持することで、市域で収集された文化財を整理・保管するために必要な空間と設備を確保することを図り、随時資料を活用できる状態を目指します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営】 施設の維持管理を行います。	県支出金		0	
	市債		0	
	その他		0	
	一般財源		1,145	
	合 計		1,145	

3. 活動内容

活動指標1	名称	維持管理施設棟数			単位	件
	内容説明	維持管理施設棟数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	2	2	2	
		実 績	2	2	―――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	適切な維持管理を行っていきます。					

事務事業名	スポーツ・よか・みどり財団支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	政策調整係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		文化・芸術	
	めざす姿		文化や芸術に親しむ人が増えている	
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 平成18年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要								
対 象 交付先：（公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団		総事業費（単位：千円）						
			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）			
		事業費	140,729	145,051	143,585			
		人件費	3,076	1,606	1,606			
目 的 （公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団の運営を支援することで、持続的で安定した運営に寄与し、多くの市民に文化芸術等に親しむ機会を提供します。		総事業費	143,805	146,657	145,191			
手段、手法【実施手法：直営】 （公財）大和市スポーツ・よか・みどり財団の運営費に対して、補助金を交付します。		8年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0				
		県支出金		0				
		市債		0				
		その他		0				
		一般財源		143,585				
		合 計		143,585				
		3. 活動内容						
		活動指標 1	名称	補助金交付回数			単位	回
			内容説明		一年間に補助金を交付した回数			
指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度			
	予 定		1	1	1			
	実 績		1	1	－ － －			
活動指標 2	名称				単位			
	内容説明							
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定						
		実 績			－ － －			
活動指標 3	名称				単位			
	内容説明							
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定						
		実 績			－ － －			
活動指標 4	名称				単位			
	内容説明							
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度			
		予 定						
		実 績			－ － －			
課 題 公益財団法人としての役割を担うべく、事業内容等について常に精査を行っていく必要があります。								

4. 今後の方針等					
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度 I：現状のまま継続
	公益財団法人として、担うべき役割を明確にし、効率的かつ継続的な経営基盤を確保するための事業展開や人員配置の実現について、情報共有、指導及び助言を行っていきます。				

事務事業名	下鶴間ふるさと館維持管理運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		文化・芸術		
	めざす姿		郷土の文化がしっかりと引き継がれている		
根拠法令	名 称	文化財保護法			
		大和市下鶴間ふるさと館条例			
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	平成17年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費				(単位：千円)			
市民			6年度（決算額）		7年度（決算額）		8年度（予算額）		
		事業費	4,990		2,015		2,401		
		人件費	4,614		3,213		3,213		
目 的		総事業費	9,604		5,228		5,614		
市指定重要文化財の旧小倉家住宅主屋と土蔵を管理・公開することで、江戸時代の商家建築および宿場町の歴史や文化に親しみ、郷土理解を深めることにつなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳							
		国支出金		0					
		県支出金		0					
		市債		0					
		その他		78					
		一般財源		2,323					
		合 計		2,401					
手段、手法【実施手法：直営】									
・指定重要文化財の旧小倉家住宅母屋と土蔵を適切に管理します。 ・通常は母屋と土蔵の外観のみを公開し、月に2回母屋内部を公開します。 ・館内の広場は市民の憩いのスペースとして開館日の日中に開放します。 ・市域に伝わる年中行事展示等の事業を行います。		3. 活動内容							
		活動指標 1	名称	運営管理施設数				単位	棟
			内容説明	維持管理施設の数					
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
				予 定	3	3	3		
実 績	3	3	――						
成 果（効果・予測）									
・矢倉沢往還（大山街道）の下鶴間宿に現地復原された江戸時代の商家建築を市民共有の財産として未来へ伝えることができます。 ・市民は江戸時代の商家と宿場の雰囲気を感じたり、民俗行事等を知ること、地域史学習のきっかけを得ることができます。		活動指標 2	名称	入館者数				単位	人
			内容説明	入館した人数					
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
				予 定	5,800	5,800	5,800		
		実 績	4,329	4,968	――				
課 題									
地域に根差した、にぎわいのある資料館として存在できるよう、地域の方々にとって利用しやすい施設であることが求められています。		活動指標 3	名称	企画展示・事業回数				単位	回
			内容説明	企画展、三館合同企画展、企画事業の回数					
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
				予 定	6	6	6		
		実 績	8	5	――				
		活動指標 4	名称	年中行事展示回数				単位	回
			内容説明	年中行事の展示を実施した回数					
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
				予 定	9	9	9		
		実 績	9	6	――				

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	II：見直しのうえで継続	7年度	II：見直しのうえで継続
	・ふるさと館に親しみを感じ、何度も訪れたいと思ってもらえる事業を展開できるよう工夫します。 ・今後も予算の範囲内で展示や市民利用を工夫しながら、建物の保存ができるよう優先順位をつけて修繕をしていきます。					

事務事業名	歴史資料提供・相談事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	市史・文化財係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間			
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標	いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野	文化・芸術	
	めざす姿	郷土の文化がしっかりと引き継がれている	
根拠法令	名 称		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無	
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要							
対 象		総事業費 (単位：千円)					
市民、職員			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）		
		事業費	0	0	0		
		人件費	769	803	803		
目 的		総事業費	769	803	803		
市域の歴史・地誌・各種記録などへの照会や利用相談に応ずることで、地域の歴史への興味や理解を深め、郷土への愛着を深めることを目指します。		8年度事業費（予算額）財源内訳					
		国支出金		0			
		県支出金		0			
		市債		0			
		その他		0			
		一般財源		0			
		合 計		0			
手段、手法【実施手法：直営】							
収集資料や刊行物に基づき回答、又は資料を紹介し、要望に応じてコピー配布をしたり、フィルムなどの貸し出しを行います。		3. 活動内容					
		活動指標 1	名称	資料情報提供件数		単位	件
			内容説明	資料、地図、写真などの貸出および情報提供件数			
			指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
				予 定	30	30	30
		実 績	31	37	――		
		活動指標 2	名称			単位	
内容説明							
指標値			6年度	7年度（当該年度）	8年度		
	予 定						
実 績			――				
活動指標 3	名称			単位			
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定					
実 績			――				
活動指標 4	名称			単位			
	内容説明						
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度		
		予 定					
実 績			――				
課 題							
歴史資料に関する問い合わせに対し、迅速に対応することが求められます。							

4. 今後の方針等						
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	収集した歴史情報を必要に応じて提供します。また、問い合わせ内容と回答の情報を集約し、今後の事業に役立てます。					

事務事業名	文化芸術振興基本計画進行管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		文化・芸術	
	めざす姿		文化や芸術に親しむ人が増えている	
根拠法令	名 称	文化芸術基本法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	平成23年度			
				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
大和市文化芸術振興基本計画			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）	
		事業費	358	169	272	
		人件費	5,383	3,213	3,213	
目 的		総事業費	5,741	3,382	3,485	
文化芸術施策を効果的に推進することで、市民が文化や芸術に親しみ、継承・創造・発信できる環境を整備し、文化や芸術に親しむ人の増加につなげます。		8年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		272		
		合 計		272		
		手段、手法【実施手法：直営】				
・文化芸術振興基本計画の進行管理、改定に関する審議を行うため、文化芸術振興審議会を開催します。						
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	文化芸術振興審議会の開催回数			単位	回
	内容説明	文化芸術振興審議会の開催回数				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	5	3	3	
		実 績	5	3	――	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
委員の構成については、本市の文化芸術を取り巻く環境を踏まえながら、議論の継続性ととともに意見の多様性にも考慮して、検討していく必要があります。						

4. 今後の方針等					
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度 I：現状のまま継続
	文化芸術振興審議会での審議等を踏まえ、今後も、施策目標の達成に向けた取り組みを着実に推進していきます。				

事務事業名	美術鑑賞推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健幸・スポーツ部	文化振興課	文化振興係	大紺 和由

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち			
	施策分野		文化・芸術			
	めざす姿		文化や芸術に親しむ人が増えている			
根拠法令	名 称	文化芸術基本法				
当該事業の法令等による義務付けの有無			一部有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
	平成23年度				設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市立小学校		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	6,158	2,723	2,794
	人件費	3,845	6,426	6,426
目 的	総事業費	10,003	9,149	9,220
美術鑑賞教育を推進することで、子どもの豊かな情操の育成を図り、もって文化や芸術に親しむ人の増加につなげます。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：委託】 ・美術鑑賞教育をサポートするガイドスタッフを育成します。 ・小学校における対話による美術鑑賞授業にガイドスタッフを派遣します。 ・ボランティア発掘につなげるための取り組みを進めます。		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		2,794
		合 計		2,794

3. 活動内容

活動指標1	名称	ガイドスタッフ育成研修の開催回数		単位	回
	内容説明	ガイドスタッフ育成のための研修の開催回数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	20	20	8
		実 績	25	8	――
活動指標2	名称	ガイドスタッフを派遣した学校数		単位	校
	内容説明	ガイドスタッフを派遣した学校数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	19	19	19
		実 績	19	19	――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	II：見直しのうえで継続	7年度	I：現状のまま継続
	市立小学校全校で対話による美術鑑賞授業が円滑に実施できるよう、引き続き、ガイドスタッフの育成、支援を行っていきます。					